

NPO かとり だより

令和5年度 第1号

令和5年 8月発行

発行/NPO 法人香取の地域福祉を考える会 理事長 中塚 博勝

〒289-0332 香取市南原地新田 459 番地 TEL0478-83-0566

E-mail honbu@npokatori.jp URL <http://www.npokatori.jp/>

就労支援事業所ワークおみがわ

〒289-0332 香取市南原地新田 459

TEL/FAX 0478-83-8005 E-mail [w-omigawa@npokatori](mailto:w-omigawa@npokatori.jp)



「法人のこれまでとこれから」

理事長 中塚博勝

平成22年11月 香取市佐原中央公民館において、香取市副市長様、福祉関係所管課長様はじめ大勢の支援者皆様のご臨席の元「NPO法人香取の地域福祉を考える会」設立総会が開催されました。

この法人の設立趣旨は会の名称に標榜されるように、香取圏域一市三町の地域福祉の向上に資する活動を実施することにあります。

「初期の活動」

その活動が拠って立つところは、千葉県が全国に先駆けて取り組んだ「24時間365日対応型相談支援事業—中核地域生活支援センター香取ネットワークの受託運営でした。

爾来、年間4,000件に届く様々な相談に対応しながら、一方で、地域福祉の向上を目指した啓発活動として二つの大きな対象者横断型—児童・成人・高齢・精神・身体・知的等分野別の20回を数える福祉講演会の圏域内巡回開催、加えて、地域福祉推進の担い手となる「コア人材育成研修」。さらに、高齢者を住み慣れた地域で支える介護の実際と体験講習の巡回開催に取り組んでまいりました。

「香取圏域ふれあいまつり」の継続開催

上記のような研修を中心とした活動に対し、法人が最も力を注いだ活動として「香取圏域ふれあいまつり」があります。障がいを持つ方々に対する差別や偏見は、相手を良く知らないことによって引き起こされると覚えています。

私どもはそれを解消し、「障がいのある人も無い人も共に暮らしやすい香取の地域づくり」を目指して、障がいがあるために地域活動への参加に消極的になっておられる方、参加できる機会や場が少ないことなどによって活動を制約されている方々、一方、様々なサークル活動に携わりながらも発表する機会に恵まれないグループの方々と、一堂に会して舞台発表・作品展示販売・模擬店販売をともに楽しみながら自然に交わり言葉を交わす体験を通して、相互理解を深めたいと願いつつ回を重ねるごとに500人を超え、延べ3,000人余りを数えるイベントを巡回開催してまいりました。

この催しは連携の枠を拡げるなど相談支援事業の推進に役立たせることが出来ました。

残念ながら香取ネットワーク事業の打ち切りにより中断のやむなきに至っています。

「中期の活動」

そのような折、香取市小見川地区に所在する「地域活動支援センターおみがわ」の指定管理者に指定され、定員19名の障がい者支援事業の運営に着手、その後令和2年には民間委譲によって新たに「就労継続支援B型事業所・ワークおみがわ」として事業を継続しています。

加えて令和2年度から4年度を一期とする香取市委託事業「生活困窮者自立支援事業・かとりサポートセンター」を受託、本年3月まで事業を実施してまいりました。折からコロナウィルス禍のあおりを受け年間1万人に届く相談受理件数が示すように、寄せられる多種多様な相談の一つひとつに心からの対応をさせていただきながらも、道なお遠しと手をこまねかざるを得ない事態に立ちすくまされることも少なくありませんでした。けれどもこの事業の有用さや意義を認めつつも3年で手を引かざるを得なかったことを惜しんでいます。

一方、法人では他法人との協力・協働の趣旨に則り「社会福祉法人佐原めぐみ会」からの委託を受けて、発達支援を受託実施するとともに、「NPO法人ひきこもりコアクライシス」と協働して毎月「ひきこもり当事者と家族の相談会」を佐原公民館研修室で開催して参りました。

この二つの活動は、小さいながらも当事者にとって欠かせないものと受け止めています。そして、このような小さな営みの一つひとつを大切にしている活動は、今後も継続しなければならないと思っています。

以上、今日まで13年にわたる法人の活動を概括して参りました。

「法人の現状とこれから」

現在法人の主たる事業は「ワークおみがわ」の運営のみです。

ご案内のように自主事業によるこの事業は、実績主義（利用者一人ひとりの月々のサービス利用量に応じて報酬額(事業収入)が支払われる）です。こうした仕組みの中で運営を安定させるための唯一の道は「多くの利用者に事業所を利用していただき、ワークおみがわでの就労支援を通じて一人でも多く将来自立した社会生活を営むことができるよう利用者支援に取り組んでいくこと」が必要と考えます。

そのためには、利用者個々の特性にあった就労支援体制を確立するための人員配置や施設整備が必要です。

こうした取り組みを行なう上で必要となる資金を確保するため、これまで法人運営に資する資金作りは会員ならびに有志の方々によるご寄付に頼ってまいりましたが、このほかに「後援会」組織を設立することで、法人組織の維持発展に寄与することができないかを構想しています。そのためには、より多くの皆様のご支援が必要となります。

「NPO法人香取の地域福祉を考える会の更なる発展に向けて」ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

◎ 会 員 募 集 ◎

NPO法人香取の地域福祉を考える会ではさまざまな福祉活動を行うため、多くの会員を募集しております。是非お知り合いの方々をお誘いくださいますようお願いいたします。

会費納入につきましては、振込用紙(手数料不要)を用意しております。下記の表をご参考に、通信欄のお振込み内容を必ずご記入願います。振込用紙の請求は法人事務局までご連絡下さい。

0478-83-0566 担当 鈴木

正会員	年額	1,000円	総会の議決権を有します
賛助会員	年額	1口 1,000円(1口以上)	総会の議決権を有しません
寄付			総会の議決権を有しません

就労支援事業所 ワークおみがわ

ワークおみがわは、令和5年4月で就労継続支援B型事業を開始して4年目を迎えました。事業開始当初は、新型コロナの流行により先行きの見通せない日々が続きましたが、今年5月からは、感染症法上の類型もインフルエンザなどと同じ5類となったことから、ワークおみがわにおいては徐々にこれまでの日常を取り戻しつつある状況となっております。しかし、新型コロナがなくなったわけではないことから、引き続き基本的な感染予防対策を行ない、日々健康に過ごせるよう努めて参りたいと思います。引き続き、当事業所へのご支援・ご協力をお願いいたします。

所長 伊能 洋平

〈活動報告〉

《令和5年1月から6月までの活動について報告します》

- 1月 初詣・新年食事会（4日） 第三者委員定期訪問日（16日）
香取市シェイクアウト訓練参加（18日）
- 2月 節分祭（3日）
- 3月 第三者員定期訪問（6日） 洪水時避難訓練（24日）
- 4月 第三者委員定期訪問（17日）
- 5月 端午の節句を祝う会（2日） 買い物支援（26日）
- 6月 買い物・外出支援（23日）



近所の社で初詣をしました



節分祭では恒例の豆まきをしました



洪水時避難訓練で城山まで行きました



スーパーへ買い物に行きました

〈活動報告から〉

新型コロナの類型も変わり、移動制限等もないことから、6月23日（金）に感染予防に配慮しながら外出行事を実施しました。ワークおみがわになった直後より、新型コロナの流行が始まったことから、ワークおみがわ初の外出行事となりました。行先は、あみプレミアムアウトレット。皆さん、買い物に行きたいという意見が多かったことを受け、行先を選定しました。久しぶりの皆での外出に、利用者の方々は大変満足したようでした。今後も、新型コロナ等感染症の状況を見ながら、利用者の皆さんの要望等を取り入れた行事を実施していきたいと思ひます。



教えて！ワークおみがわのこと



ワークおみがわ建物

「ワークおみがわ」って何をしているところなの？どんな人たちが利用しているの？などの質問にお答えします。

Q1. ワークおみがわは何をしているところですか？

A. ワークおみがわは、将来働きたいと思っている障害を持った方が、働くための知識や技能、社会のマナーなどを学ぶところです。

Q2. 利用するのに条件などはありますか？

A. ワークおみがわは、香取市と東庄町に住んでいる障害を持った方が利用できます。

Q3. 実際に、どのようなことをしていますか？

A. 主に内職の請負作業を仕事として取り組みながら、必要なスキルを身につけていきます。



作業の様子



作業の様子

Q4. 内職作業をすると、お給料はもらえますか？

A. その人の作業状況等により金額は変動しますが、工賃として働いてもらった分のお給料を支給しています。

Q5. 就労に向けたお手伝いはしてくれますか？

A. 就労を希望する方には、関係機関と連携して職場体験の手配をしたり、職員とハローワークへ行き求人票をみたり、ハローワーク職員と就労に向けた相談をします。



お給料は月末支給です

Q6. 困った時などに相談はできますか？

A. 困った時などは職員にいつでも相談できます。
また、第三者委員さんが定期的に訪問してくれて、相談ごとなどの話を聞いてくれます。



第三者委員さんに相談中

Q7. 利用したい時はどうすればいいの？

A. まずは、ワークおみがわに連絡してください。ワークおみがわの利用手続きについて説明します。

ワークおみがわについて、わからないことがあれば、いつでもお問い合わせ下さい。